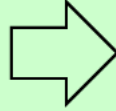


## 事業を契機に集落の農業の担い手として法人化 ～（農）奥州中沢～

### 経営体の概要

事業実施前：平成18年度  
基幹作物：水稲、大豆、牧草  
経営面積：各農家（40戸）が栽培



現在：平成29年度  
基幹作物：水稲34ha、大豆11ha、  
牧草8ha、WCS用稲10ha  
経営面積：63ha

### 取組の経緯と経営転換のポイント等

事業を契機に、集落の水稲、大豆、牧草の作業受託組織を立ち上げ、平成26年に集落の農家40戸が構成員となり法人化。

平成17年に、ほ場整備後の営農が本格化する中で、事業により大区画化されたほ場を集積・集約することで農作業の省力化が実現している。

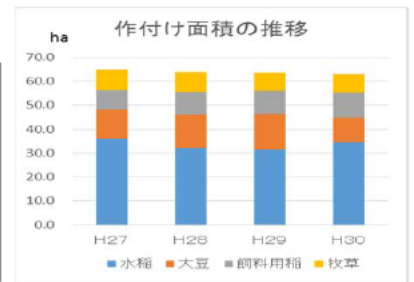
法人の構成農家は、省力化した労力を活用し、個々の農家で施設野菜栽培に取り組んでいる。

### 営農改善のポイント

#### ① 規模拡大・土地利用調整

本経営体は、事業を契機に集落の転作をブロックローテーションで計画的に行うための集落営農組織として設立し、法人化している。

集落内の作付計画を調整するとともに、水稲、大豆、飼料作物の作業受託を行うことで、農地の集積・集約化が実現している。



#### ② 省力化

10a区画のほ場が0.5ha区画のほ場に大区画化され、集積・集約が進められたことで、草刈作業等が省力化している。

また、給水栓、暗渠が整備されたことで、水稲の収量が約60kg/10a程度増加し、品質も向上している。水稲のうち一部は、低コスト化を図るため湛水直播栽培（鉄コーティング）を行っている。



#### ③ 地域への影響

本地区の5集落は、事業を契機に大規模ライスセンターを整備し、農業生産は農家、集落営農組織（当法人等）で行い、出荷調整等の役割を（農）いさわ南部で行うことを基本として農業経営が行われている。



### 事業概要

事業種：国営農地再編整備事業  
関係市：奥州市  
受益面積：1,352ha  
事業期間：平成10年度～平成22年度  
事業目的：区画整理  
主要工事：区画整理1,090ha、農地造成10ha  
農道L=8.2km、排水路L=4.3km

### 位置図（岩手県）



### <問い合わせ先>

東北農政局  
農村振興部農地整備課  
電話：022-263-1111  
(内線4460)

(平成29年度調査時点)